



2024年5月1日

《脱炭素化への取組み》 三重県産 CO₂ フリー電気の導入拡大について

株式会社百五銀行（頭取 杉浦 雅和）は、下記のとおり、中部電力ミライズ株式会社（代表取締役 神谷 泰範、以下「中部電力ミライズ」）が提供する三重県産 CO₂フリー電気「三重美し国 Green でんき」の導入を拡大いたしますので、お知らせします。

新たに当行の支店、関連施設をはじめグループ会社が入居する拠点を含めた6拠点に導入拡大を図り、事業活動における当行グループ全体の環境負荷軽減に努めてまいります。

なお、中部電力ミライズが提供する本フリー電気導入は、2021年8月1日に需給契約を締結して以来、今回で5例目*（計10拠点）となります。

本取組みにより、当行グループの電力使用における再生可能エネルギーの比率は約5割となる見込みです。

記

- 1 利用開始日
2024年5月利用分から
- 2 導入施設
三重県内の営業店・関連施設（3拠点）
 - ・桑名支店 ・四日市支店 ・研修所α（当行研修施設）当行グループ会社施設（3拠点）
 - ・百五銀行集中センター（百五ビジネスサービス株式会社本社）
 - ・百五銀行高茶屋用度センター（百五管理サービス株式会社本社）
 - ・栄町ビル（株式会社百五カード・百五リース株式会社・百五みらい投資株式会社本社）
- 3 CO₂排出量削減効果
年間約 650t*-CO₂（当行全体の電力使用量の約15.2%に相当します）
* 前年の使用実績値にもとづきます。
- 4 三重美し国 Green でんきについて
「三重美し国 Green でんき」は、三重県内に立地する櫛田川や宮川等の水系にある水力発電所で発電された電気に、同発電所に由来する環境価値を活用することでCO₂排出量ゼロにした三重県産の電気を、中部電力ミライズが供給するものです。
また、今回の当行と中部電力ミライズのCO₂フリー電気の調達契約においては、支払う電気料金の一部を、中部電力グループが保有する青蓮寺水力発電所の改修支援に活用することを規定しています。これにより当行は自社のCO₂フリー化だけでなく、三重県内の再エネ電源の維持・拡大にも貢献いたします。

以上

*ご参考：当行における三重県産フリー電気「三重美し国 Green でんき」導入施設一覧

利用開始日	導入施設	CO2 排出量削減効果 (年間)
2021年 8月	岩田本店棟 (津市)	約 761 t-CO2
2021年 10月	丸之内本部棟 (津市)	約 601 t-CO2
2023年 10月	百五銀行情報センター (津市)	約 568 t-CO2
2024年 3月	鶴方支店 (志摩市)	約 72 t-CO2
2024年 5月 (今回)	桑名支店 (桑名市)	約 650 t-CO2
	四日市支店 (四日市市)	
	研修所 ^α (津市) (研修施設)	
	百五銀行集中センター (津市) (百五ビジネスサービス株式会社本社)	
	百五銀行高茶屋用度センター (津市) (百五管理サービス株式会社本社)	
	栄町ビル (津市) (株式会社百五カード・百五リース株式会社・ 百五みらい投資株式会社本社)	